

シルバー人材センター・生きがい事業団

ヒヤリハット 体験事例集



公益社団法人

神奈川県シルバー人材センター連合会

令和5年7月発行

はじめに

県内シルバー人材センター・生きがい事業団のシルバー会員の就業中及び就業途上での事故につきましては、依然として高い発生状況にあります。

このような状況において、当連合会では、安全就業の意識の高揚と、事故防止のため、昨年度「ヒヤリハット体験事例」の募集を行いました。ハインリッヒの法則では、1件の重大事故の裏には29件の軽傷事故、300件の無傷事故があるといわれていることから、皆様から頂いたヒヤリハット体験は、シルバー会員の就業及び就業途上での不安全行動（事故）を無くすための貴重な情報です。

そこで、今回、応募頂いた56作品の中から参考となる事例について、「ヒヤリハット体験事例集」として取りまとめました。今後、各シルバー人材センター・生きがい事業団における安全就業の推進に向け、当事例集をご活用いただければ幸いです。

なお、今回取りまとめに当たりお忙しい中ご協力いただきました各シルバー人材センター・生きがい事業団の皆様、安全対策検討部会の部会員及び事故防止委員会の委員の方々に、厚く御礼申し上げます。

公益社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会

目 次

1 就業途上	1
2 就 業 中	
(1) 植木剪定	2 ~ 3
(2) 除草業務	4 ~ 5
(3) 清掃業務	6 ~ 7
(4) 駐車場・駐輪場管理業務	8
(5) 運搬・運転業務	9
(6) その他	10

1 就業途上

事例1	青信号の交差点を歩いていた際に、赤信号であったはずの反対車線から進入してきた車と接触しそうになった。
仕事の内容	ポスティング
問題点	青信号であっても、交差点歩行の際には注意が必要
注意・改善したこと	青信号でも交差点を歩行する際には、一呼吸して、周辺を確認してから渡るようにする。

事例2	青信号の交差点を歩いていた際に、大型トラックが右折してきた。全く止まる様子がなかったため、急遽走って渡った。
仕事の内容	—
問題点	トラック運転手は運転席が高いため、歩行者を見誤った。当方が逃げなければ大事故になっていたかもしれない。
注意・改善したこと	横断歩道だからと安心せず、また運転手のミスも多々あることから、横断中は左右確認しながら速やかに渡ることが必要である。



道路横断中の交通事故防止のポイント

- ① 渡る前だけでなく、渡っている途中も周囲の安全を確認しましょう。
- ② 斜めの横断は、道路を歩く距離が長くなり、後ろから車が来ても気が付かず、大変危険です。まっすぐに渡りましょう。
- ③ 夜間外出する際は、明るい色の服装で、反射材用品を身に付け、自分の存在を運転者にアピールしましょう。



2 就業中

(1) 植木剪定

事例1	キンモクセイの生垣を電動トリマーで剪定作業中スズメバチに攻撃されたので必死でその場から逃げる途中、右腕2か所と左腕1か所を刺された。首にタオルを巻き、白いヘルメットをしていたので、首と頭は無事だった。
仕事の内容	植木剪定
問題点	スズメバチの活動が活発な時期であることを知らず、作業のみに集中していた。
注意・改善したこと	スズメバチの活動が活発な時期に作業する際は、作業対象物の近辺にハチが飛来していないか十分注意する。また、下見時にもハチがいるかチェックし、スズメバチの警戒飛行を見つけたときは、お客様に自治体へ連絡するよう依頼する。

事例2	左手で木枝を持ち右手で切断し完了した際、力が余り足にノコギリが当たった。幸い地下足袋に当たったため、ケガはなかった。
仕事の内容	植木剪定
問題点	いつもの作業であったことから、油断していた。 左手だけで木枝を持っていたため、不安定だった。
注意・改善したこと	木枝を何かの台にのせて、左手でしっかりと持って切断する。

事例3	斜面の道路際、ブロック塀上高さ4メートルの梅の木に脚立で剪定作業中、脚立が突然ズルっと動き出し、ハッとした。
仕事の内容	植木剪定
問題点	慣れていたので、大丈夫だと思った。 不注意により脚立が動き、身体のバランスを崩した。
注意・改善したこと	塀の飾風穴に結い紐を通し、脚立が動かないよう固定した。

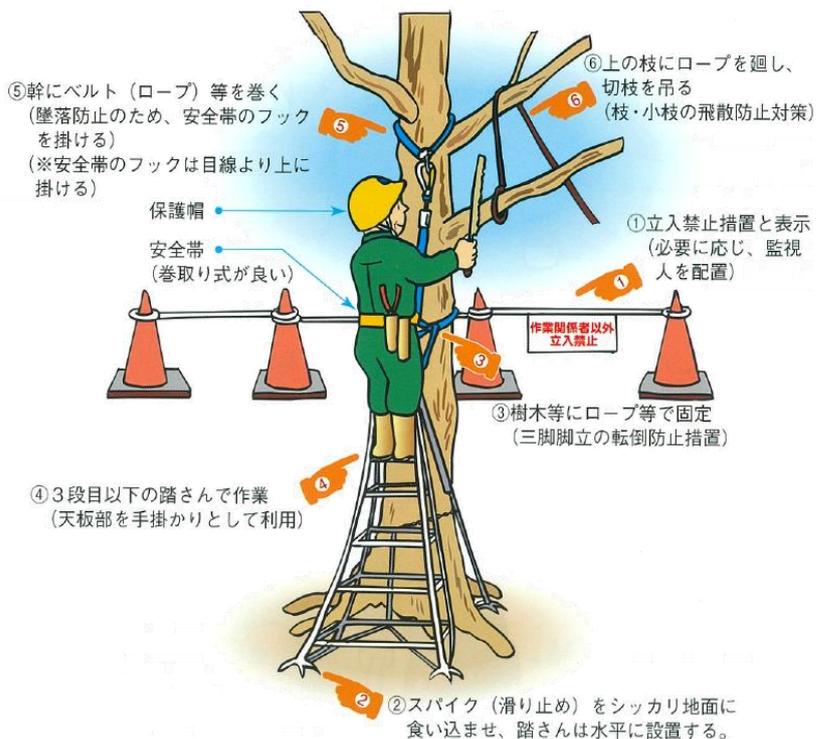
事例4	三脚梯子を使用し植木の剪定中、梯子が傾きヒヤッとした。
仕事の内容	植木剪定
問題点	無理な姿勢で作業をしていた。
注意・改善	三脚梯子は安定して設置できる場所とし、安全を十分確認する

事例5	三脚を使用して高所の剪定作業中、三脚が傾き、倒れ始めた。大声で助けを呼び三脚を支えてもらい転落を免れた。
仕事の内容	植木剪定
問題点	いつものように、大丈夫だと思った。 梯子の片側に端具がついていなかったため、ぬかるんでいた土に梯子の片側が沈み、三脚のバランスが崩れた。
注意・改善したこと	三脚使用時の設置場所、三脚の状況の確認、及び、埋もれ止めの設置。

事例6	植木の剪定作業に入る準備で梯子運搬時、足元を気にするあまり横に張り出していた物干棒に頭をぶつめた。(ヘルメットを着用していたため、大きなケガにはならなかった)
仕事の内容	植木剪定
問題点	気が付かなかった
注意・改善したこと	いつもの通り、ヘルメットを着用して作業する

植木剪定作業中の転落事故防止対策

打ちどころによっては、命に関わる重大事故。
常に慎重に行動しましょう。



全シ協「安全就業のためのチェックポイント」より抜粋

(2) 除草作業

事例1	道路に面した場所を除草作業中に、すぐ近く（約60～70センチ）を車が減速せずに通過した。危うく接触事故になるところだった。
仕事の内容	除草・草刈り
問題点	カラーコーンを1か所設置していたが、設置場所が道の端に寄りすぎており、ドライバーへの注意喚起が不足していた。
注意・改善したこと	カラーコーンを作業者の前後に2か所設置、道の端から見やすい場所へ移動した。

事例2	草刈りをしていた時、小さな石が5メートル以上飛び、車に当たりドキッとした。
仕事の内容	除草・草刈り
問題点	防護ネットを使用していなかった
注意・改善したこと	作業場所の近くを人や自動車が通行する際には笛を吹き、一時作業を中止することなど、飛び石事故には十分注意する。 防護ネットを使用する。

事例3	病院敷地内にて植木の中の草取りをしていた時、足長バチの群れに襲われ、手を4か所刺された。
仕事の内容	除草・草刈り
問題点	数日前に病院側（発注者）でハチの巣を取り除いたが、ハチが再度巣を作ろうとしていた。今までハチを見かけたことがない場所だったので、油断していた。
注意・改善したこと	発注者と作業者がハチを見かけた場所の情報共有を徹底する。

ハチ刺されに注意！

令和3年度には、県内シルバー会員の死亡事故も発生しています。

- ① 作業前に、ハチが飛んでいないか、必ず作業現場の状況の確認をしましょう。
- ② 屋外作業の際には、「携帯用ハチ撃退用スプレー」をポケットに入れて作業しましょう。
- ③ 「巣に近寄らない」「巣に振動などの刺激を与えない」「巣の近くでは作業しない」ことを守りましょう！



蜂に刺されたときの応急手当



1. まず次の処置を行います

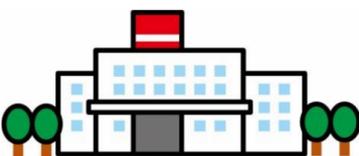
- ① 速やかにその場から離れる
落ち着いて、蜂を刺激しないようにゆっくりと退避します。
- ② 傷口を流水で洗い流す
蜂針が残っている場合はつまんでそっと抜きます。
- ③ 傷口周囲を圧迫し、毒液を絞り出す
傷口の周囲をつまんで毒をしぼり出します。
※口をつけて吸い出すことはしないで下さい。
- ④ 傷口に薬を塗り、傷口を濡れタオル等で冷やし、安静にする
一般に虫刺され用の薬として市販されているもので大丈夫です。

2. 早めに医療機関を受診します

また以下の症状が出始めたら大至急、医療機関を受診します。

その他、いつもと様子がおかしい場合、ためらわずに救急車を呼んで下さい！

自分で分かる症状	他人から見て分かる症状
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全身の腫れ ・ 口内の異物感 ・ 口内のしびれ ・ 物が飲み込みにくい ・ 息苦しさ ・ 両手足のしびれ ・ 息切れ、動悸 ・ 悪寒 ・ 耳鳴り ・ くしゃみ ・ めまい ・ けだるさ ・ 腹痛 ・ 尿意感 ・ 吐き気 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 息苦しさ ・ 肌の紅潮 ・ 肌の腫れ ・ じんましん ・ 身体のむくみ ・ 肌が蒼白い ・ けいれん ・ 失禁 ・ 意識障害



神奈川県伊勢原市「ハチに刺された場合の応急手当」HP より

(3) 清掃業務

事例1	モップを使用して屋内清掃中に、階段の裏が鉄骨がむき出しになっていたため、かがんだ姿勢から立ち上がった際に頭をぶつけそうになった。鉄骨の角に頭部をぶつければ脳震盪、頭部裂傷などの大事故に繋がる場所であった。
仕事の内容	屋内清掃
問題点	通路の頭上の鉄骨がむき出しになっていたこと、及び注意力不足。
注意・改善したこと	発注者に、鉄骨部分に虎柄のコーナーガードを付けてもらったことで目視でも意識出来るようになり、また、万が一ぶつけてもガードがクッションとなり怪我を予防できるようになった。さらに、大事故にならないよう必ずヘルメットを着用することにした。

事例2	扉の内側から出てくる人が、外側にいる自分に気づかずいきなり扉を開けたので驚いた。幸いにも、足音に気付いて避けることができたので、大事には至らなかった。
仕事の内容	屋内清掃
問題点	扉を開ける際の注意不足
注意・改善したこと	ロッカーの出入り口の扉に、人を察知するとランプが付き、音も鳴る器具を取り付けた。

事例3	後向きに階段を下りながら掃き掃除作業中、階段を踏み外しドキッとした。
仕事の内容	屋内清掃
問題点	作業方法及び注意力不足
注意・改善したこと	① 後向きに下がりながらの作業は十分注意する。(平衡感覚が衰えている)。 ② 作業前に手順の確認を行い、危険作業を認識する。

事例4	階段を後ろ向きにモップをかけて下りていた際、バケツに足をぶつけた。
仕事の内容	屋内清掃
問題点	降りる先にバケツを置いたこと。さらに、バケツを置いたことを忘れたこと。
注意・改善したこと	基本的に階段にはバケツを置かない。置いた時は、時々下を見て安全を確認しながら降りていく。また、バケツを置いたことを失念しないようにする。

事例5	2階にある倉庫から、トイレットペーパーの入った大きくて重い段ボールを1階に運ぶ際、階段を使用するので、落下の危険や腰を痛める恐れがある。
仕事の内容	屋内清掃
問題点	毎回行う作業ではないので無理をしがちであり、段ボールが大きくて重いので運ぶ際に前が見えづらい。
注意・改善したこと	倉庫内にて段ボールからトイレットペーパーを取り出し、大きめのカゴやビニールを使用し、階段の手すりをつかみながら運搬できるような手順にした方がよいと思った。

事例6	マンション階段ホールの蛍光灯（天井高、約 2m55 cm）を、脚立を使って交換する際、動作が不安定になり転倒しそうになった。
仕事の内容	屋内清掃
問題点	蛍光灯を片手で持ったため、バランスを崩した。
注意・改善したこと	片手作業は絶対にやめて、両手で行うこととした。また、特に天井が高い作業の場合には十分注意する。

※2m以上の高所作業では、安全帽の着用及び補助者が必須です。

事例7	クリーンセンター内通路の清掃作業中、事務所の中から人が飛び出して来てハットした。ぶつかって怪我をしていたかもしれない。
仕事の内容	屋内清掃
問題点	人が飛び出してくるかもしれないことへの注意力不足。
注意・改善したこと	出入り口は飛び出しがあるものと認識し、必ず止まって安全確認を行い作業にあたる。

転倒の原因と防止対策

- 加齢により運動機能、バランス能力が低下
 - ・作業に伴う危険性を過小評価しないでください。
 - ・日頃からこまめに体を動かして、体力や筋力の維持に努めましょう。
 - ・「まだ若いから大丈夫」といった油断や過信は禁物です。
- 常に足元に注意して！
 - ・階段は一段一段、慎重に上り下り
 - ・階段は手すりを使って上り下り
 - ・すべりやすい場所では小さな歩幅で歩行する。
 - ・すべりにくい靴を履きましょう。



(4) 駐車場・駐輪場管理業務

事例1	サッカー駐車場の出入り口をチェーンで閉めようとしたとき、1台の車両が入って来て制止も聞かずチェーンに接触した。運転手から「よく見えませんでした」との謝罪があったが、場合によっては車両はチェーンを切断し突っ込んでいたかもしれない。
仕事の内容	駐車場・駐輪場管理
問題点	チェーンが錆びたような黒色で、車両運転手からは、夜間では極めて見にくい状態であった。
注意・改善したこと	チェーン約4メートルの長さに6ヶ所白い荷札を垂らし、さらに荷札に反射鏡テープも貼り付け、夜間でも判別出来るよう改善した。

事例2	駐車場の管理業務で待機中、車の後部を横切った時、車が急にバックしてきて、危うく接触事故を起こしそうになった。
仕事の内容	駐車場・駐輪場管理
問題点	まずは、慌てていたこと。さらに、運転手へ声かけずに後ろを横切ったため、双方の思いに違いが生じたこと。
反省したこと	面倒と考えずに、必ず運転手の確認をとってから動作する。

事例3	場内を車で巡回中、エンジン音が静かだったのでスピードを上げたら、前の車との車間距離が近くなり危うく追突しそうになった。
仕事の内容	駐車場・駐輪場管理
問題点	大丈夫だと思った。(思い違い・思い込み)
反省したこと	必要な車間距離を取る。また、一度止まって待ち、近づき過ぎた場合は後方を確認し後退する。

作業は駐車場・駐輪場内の案内であり、車道への出入り誘導は行ってはいけません。依頼者よりその作業を要求された場合には、管轄のシルバー人材センター・生きがい事業団へ報告・相談しましょう。

適正就業遵守



(5) 運搬・運転業務

事例1	植木剪定で使用する機材を運搬中、車の振動により固定ロープがゆるんで機材が落下しそうになった。
仕事の内容	運搬・運転
問題点	ロープでの固定があまかった。
注意・改善したこと	固定ロープの他、さらに機材どうしを縄やロープで連結固定する。

事例2	商品を積んだ「かご車」を、所定の場所にブレーキをかけて止めていたが、時間が経って「かご車」が動き出し、構内駐車中の乗用車に当たってしまった。
仕事の内容	運搬・運転
問題点	「かご車」に車止めを噛ませていなかった
注意・改善したこと	「かご車」を離れるときは、車止めか角材を噛ませることを徹底する。また、ブレーキ不具合の「かご車」は使用禁止する。

事例3	朝、送迎車で利用者様を迎えに行く途中、見通しが悪い小さな交差点で、突然左側から高校生の自転車が通過し、危うくぶつかりそうになった。
仕事の内容	運搬・運転
問題点	カーブミラーがなく、見通しが悪かった。 通行者に対する注意力不足。
注意・改善したこと	突然の自転車の通過や子どもの飛び出しに十分に注意し、さらに、住宅街であることから徐行し気を付けて通過する。

事例4	トラックを運転中、上部に軽い物を乗せたところ、振動で道路に落下してしまった。後続の車やバイクに当たっていたら事故となっていたと思い、ハッとした。
仕事の内容	運搬・運転
問題点	上部にのせた荷物の固定不足
注意・改善したこと	トラックに荷物を載せる際は、ロープで締めるか、ブルーシート等をカバーする。

自動車を運転する際は、
「油断せず」「過信せず」
安全運転を心がけましょう！



(6) その他

事例1	放置自転車確認巡回中、暗くなって建物の間の路地から広い歩道へ出ようとした時、目の前を無灯火の自転車が走り去り、一瞬ハッとしました。
仕事の内容	放置自転車監視巡回
問題点	暗かったのでよく見えなかった。また、暗かったのでよく確認しなかった。
注意・改善したこと	見通しの悪い場所から出る時は、一度立ち止まって左右よく確認する。特に、暗くなり見えにくくなってからは十分注意し通過する。

事例2	ポスティング時、マンションの階段を下りている際、足を踏み外しそうになった。
仕事の内容	ポスティング
問題点	足元をよく見ていなかった(不注意)ため、身体のバランスを崩した。
注意・改善したこと	階段の上り下りの際は、必ず声を出し足元をよく見る。さらに、階段の数を数えながらゆっくり下りることも有効。

事例3	施設での定時巡回作業中、濡れた外階段で滑って、後頭部を打ちそうになった。手すりに掴まれなかったら、後頭部強打や骨折等の重傷を負っていたと思い、ヒヤリとした。
仕事の内容	施設管理
問題点	漏水により階段が濡れ滑りやすくなっていた。身体のバランスなど、十分注意しなかった。
注意・改善したこと	施設に漏水対策を依頼した。自身の対応策としては、常時手すりに触れ、注意深く階段を下りるよう心がけた。また、同僚へも注意喚起を行った。



転びやすい場所は、
「ぬ」「か」「づけ」で覚えて
注意を心掛けましょう！

もう一度、
見直す気持ちで事故防ぐ
みなでめざそう安全作業

標語を合言葉に
安全就業に努めましょう！

